

## 第 89 回 ITER 機構職員募集説明会での Q&A

### 1. 日時・場所

平成 28 年 7 月 14 日（木）、15 日（金）

九州大学 伊都キャンパス（核融合エネルギー連合講演会 展示会場）

### 2. 来訪者 30 名程度

### 3. 説明概要

核融合エネルギー連合講演会 展示会場において、ITER に関するポスターを展示し、来訪者に ITER に関する資料を配布し、ITER 計画について説明および ITER 機構職員募集を行った。

（ITER 統合支援グループ 近藤、大原 ITER 計画管理グループ 會澤）

### 4. 主な Q&A

Q：ITER はいつ完成しますか？

A：現在、トカマク複合建屋や本体組立建屋の建設が進められています。また、最初のプラズマは 2025 年に点火される予定です。



Q：ITER 機構職員の勤務地はどこですか？

A：ITER 機構職員の勤務地は、フランス南部のサン・ポール・レ・デュランスです。サン・ポール・レ・デュランスへは、パリやアムステルダム空港を経由し、最寄りのマルセイユ空港へ、そこから車で 2 時間ほどの場所に ITER サイトがあります。ITER 機構職員はエクサンプロバンスかマノスクに滞在し、そこから自家用車や ITER 機構のバスで通勤しています。



Q：3年間の職務経験は必要ですか？

A：大学新卒などで ITER 機構への就職はほぼありません。専門職員であれば、少なくとも3年の実務経験が求められますので、企業や研究機関で実務経験を積んでから ITER 機構の職員になるというのが一般的です。一方、モナコが出資して参加極からポスドクを募集する制度（ポスドク・フェローシップ）があります。職員募集ではありませんが、学生の方々にも門扉は開かれていますので、ぜひ応募を検討して頂きたいです。これは ITER 機構で2年間、実際に ITER を研究開発している先進の科学者・エンジニアの下で、核融合研究プログラムに参加する機会です。募集は2年ごとにされています。応募するためには、応募締切日より2年以内に博士課程を卒業していることが必要です。

Q：ITER 機構に採用された場合、任期は決まっていますか？

A：ITER 機構と直接雇用を結ぶ場合、契約期間は最大5年です。契約期間満了後、評価や実績により、更新される方も少なくありません。また、最初の契約を終えた時点で、異なるグレード・等級のポストに応募する方もいます。

Q：ITER 機構では実際どのような仕事をするのですか？

A：ITER 機構が募集するポストは、核融合に関する研究実績がある研究者・技術者ばかりではなく、機械系、電気系の技術者、プラント建設の経験を有する技術者、国際プロジェクトの経験者など、幅広く人材を求めています。また、人事や財務、契約などの事務系の職員も募集しています。募集ポストの Job Details に記載された職務経験や専門性をご覧いただき、ご自分の職歴・専門性に合致するポストに積極的に応募してください。

Q：現地での日本人学校について教えてください。

A：ITER サイトの近くにマノスクという人口3万人程度の小さな町があります。マノスクには国際学校があり、保育所から高校（3歳から18歳）まで一貫した教育を受けることができます。フランスの教育制度に基づく公立学校なので、授業料は無料です（課外授業などは有料）。授業は母国語とフランス語で行われます。母国語の授業では日本語をはじめとして6つの言語から1つを選択することができます。国際学校の全生徒数は現在400人を上回っており、ITER 機構職員の子女が半分以上を占めています。

Q：どの程度の英語が必要ですか？

A：ITER 機構へ応募する際の提出書類や面接はすべて英語で行われます。また、ITER 機構における公用語も英語です。したがって、英語を用いた職務遂行が可能かつ様々な国の人々とコミュニケーションを取れることが重要となります。

量研機構では、職員公募の登録制度を設けており、登録者には応募書類の英文添削やアドバイス、模擬面接ビデオの閲覧、面接のトレーニング、場合によって想定問題の提供など、応募プロセス・面接に役立つような支援を実施しています。また、公募情報を含めた情報を直接メールにより提供しておりますので、ぜひご活用ください。



展示ブースの様子